WEB連載 *Entertainment・Essay*

木村奈保子の音のまにまに

Written By NAHOKO KIMURA

コロナ禍のカオス

木村奈保子の音のまにまに | 第41号

3回目のワクチン接種を受け、「新作用」なるく「実況型」と呼ばれるのはなぜ？）
かえって、自分の年齢を感じさせた。
しかし、接種前日は、あろうことか表情に不自然さが現れ、怠人から届いた「抗原検査（T）」の結果は意用すると、2本目、性感から半深度を取りさせたカンジイアが、製なるものに代ろようこ、わっ、と通常な形応をしてしまい、その後は、眠ったのか、眠れなかったのか、ボけだかからない。
通常前の夜に、波作用の調整をしたら浮ヒか？
ホラー映画の発表会による異来体験？

どちらもあろう話だが、ウなり、コロナ禍の西地と年目を重ねた
予想感は、リアルに厳ってい生気が手を伸ばしのころ〜〜、

さて、2年も過ぎたコロナ禍で、いったい音楽関係の重は どのくらい天われたのか？　同じく、映画、演劇はどうか？
飲食店の臨時要は解禁で、ある程度なることは できるが、音楽、演劇などの、密閉のしごこに集ひる人々の調べについて、観客調整を する義給がないのは、残念だ。
神々は、「聖素晴を忘れな」と言う指令をくだされた。

報道や演劇番組は、政府によるコロナ対策の方針が続く中、メディアは、自分たちの仕事にきちなな実現がないのかうこ、平現なニュースの扱いなりで、特に独自のメイ ンを探ろうすることもなく、ふ法者の表に乗っ状を実へ多知させ、異分を量 暗れ ある。

いったい、どこに正義があるのだろう？
ルールは、どこには切羽詰まった状況で、政府によって「自粛自警」とできない清い訳で平 熱にあるのだろう？
リーダーをたらに、ベースとして、「ヒロイズム」があるはずだ。
その義賞なしには、何も語けない。
ヒロイズムを持たないリーダーたちに、あろうことか、付属するような、薄いないス人たちを、なんとなく見分けられる気がする。
あ あ、カオス！
CHAOSだ。

番組では、出演スタッフも、録音準による番組の方向性が決められているのだろうが、自本講りの、講論ないことに有理ひ各会時間ちに表ひ ちんがする。
ちなみに、私の方向ス方は、「報道特集」と「モーニングショー」くらい。
動り手のヴィジョンなくして、報道番組はない。
ただのお知らせ番組を段階しているのだろうか。

そろいさえ、2021年、オリンピック記録映画の監督を務めた河瀬直美監は、自分が記録映画を撮ずるこ ろ さ を さ ら に 高 め ま ま ま に 、テ レ ビ の ド キ ュ メ ン タ ー 番組に協力出演した。
その内容の一部が、ネットで見ずれた。
河瀬監督は、カンヌの受賞作ゆ ど ひ ろ の プ ラン ド 監督。
彼女が、どんな記録映画を完成させるのか、まだ ひ ら ひ ら な が、予告編の冒頭を見 た テ レ ビ の ド キ ュ メ ン タ ー、ゆ な 場 面 を 豊 ま に 入 れ た 映 像 が あ り、問題 な な た。
それは、オリンピック反対のデモをする青年が、「神はりなでて、点金をもらっ ちゃ」と言いしゃるシーンだ。

これがテーマなら、そこを徹底的に煽り下げればいいのだが、ワンカットのみで、関 する取材映像は何もない。
どうしてもこの一点だけ、入れたかったのか、それは、なぜか？

地域番組は、女性監督のプロモーション映像のような、ヴィジョンのないドキュメンタリ ーなどだった。その後も、監督の問題は、ない。
この番組では自分が現場で ま ( ) な く、問題部分は、わからないというが 交 番 で な い 「監督」なのだから、そこを突けない ( ) ( ) だ ( ) ( ) ( )